

始良市加治木総合支所庁舎建設 市民ワークショップ

報告書

令和元年 11 月

目 次

1. 市民ワークショップの概要

- 1.1 市民ワークショップの位置づけ 1
- 1.2 市民ワークショップのスケジュールと検討内容 2

2. 市民ワークショップの結果

- 2.1 第1回ワークショップ 3
- 2.2 第2回ワークショップ 7
- 2.3 第3回ワークショップ 11

1. 市民ワークショップの概要

1.1 市民ワークショップの位置づけ

本庁舎及び加治木、蒲生の両総合支所庁舎の建設に向け、平成 30 年 8 月に「始良市複合新庁舎建設基本構想・基本計画」（以下「基本構想・計画」という。）を策定しました。総合支所庁舎建設に向けた市民参画の取組では、平成 30 年度に市民が主体的にアイデアを出し合う、市民ワークショップを開催しました。この市民ワークショップでは、総合支所庁舎整備に係る計画づくりのキーワードとして、「子育て」や「教育」などを抽出しました。

本年度は、そこで得られたキーワードや意見をもとに、さらに「庁舎のあり方」や「新庁舎の複合機能とその優先度」、「新庁舎と地域との連携方策」について地域の方々の意見を聴取し、その内容を基本計画に反映させることを目的として、「加治木総合支所庁舎の整備に関する市民ワークショップ」を開催しました。

今後、地域懇話会や複合新庁舎建設検討委員会、パブリックコメントを通して、加治木総合支所庁舎建設基本計画を策定します。



図 1 総合支所庁舎建設基本計画策定に向けた取り組み

1.2 市民ワークショップのスケジュールと検討内容

日 程	目的・テーマ	内 容
第 1 回 (8 月 25 日)	ワークショップにおける検討内容を確認・共有し、新総合支所庁舎のあり方を考える	①新総合支所庁舎建設に係る経緯・取り組み内容等を共有し、理解する。 ②ワークショップの目的、進め方、検討内容等を共有し、理解する。 ③先進事例を学ぶ。 ④現庁舎の課題を踏まえ、新総合支所のあり方について考える。
第 2 回 (9 月 8 日)	新総合支所庁舎と複合化する機能を考える	①前回の振り返りと第 2 回ワークショップの進め方を理解する。 ②複合化した庁舎の事例を学ぶ。 ③新総合支所庁舎における「機能」について、さらに詳しく考える。
第 3 回 (10 月 6 日)	- 新総合支所へ導入する機能の優先度を考える。 - 新総合支所庁舎における地域との連携方策を考える。	①前回の振り返りと第 3 回ワークショップの進め方を理解する。 ②新総合支所に導入する機能の優先度を考える。 ③新総合支所庁舎と地域との連携方策・市民参画について考える。 ④今後のスケジュールを共有する。

図 2 市民ワークショップの検討内容

2. 市民ワークショップの結果

2.1 第1回ワークショップ

(1) ワークショップの概要

第1回ワークショップでは、新庁舎建設に係るこれまでの経緯やワークショップの進め方、新庁舎建設に係る先進事例の紹介など、庁舎建設の基本的な情報を共有しました。また、現在の総合支所庁舎における課題と新しい総合支所庁舎のあり方について、A、Bの2グループに分かれて意見交換を行いました。

第1回ワークショップの概要を表1に示します。

表1 第1回ワークショップの概要

日 時	令和元年8月25日（日）9:30～11:30
場 所	始良市加治木総合支所 南庁舎2階 多目的ホール
目 的	ワークショップの検討内容を確認・共有し、新しい総合支所庁舎のあり方を考える
参加人数	15人
1. 開会	
2. 主催者挨拶	
3. これまでの経緯等の説明	
4. ワークショップの趣旨説明	
5. ワークショップの進め方説明	
6. 事例紹介	
■ 基本計画とは…	
■ 現総合支所庁舎の課題と先進事例における窓口機能、共用空間について紹介	
7. グループ討議	
■ テーマ：現在の総合支所庁舎の課題と新しい総合支所庁舎に求めるもの、あり方等について	
8. 今日のまとめ	
■ 出された意見を発表する	
■ 簡単な整理、意見の共有	
9. 事務連絡（次回の予定）	
10. 閉会挨拶	

表 2 第1回ワークショップの様子



(2) 第1回ワークショップで出された主な意見

A 班	【加治木らしさ】 ・シンボルとなる絵 ・歴史、自然を生かした学習の場 ・周辺施設との連携 【市民ロビー】 ・市民が集える場 ・気軽に立ち寄れる場 ・他世代交流ができる場 ・ワンコインで利用できる食堂 【多目的室】 ・間仕切りで広さを変えられる多目的室 ・夜間利用が可能な会議スペース 【わかりやすい庁舎】 ・分かりやすい窓口案内 ・相談出来る場所の設置 ・一ヶ所での手続きが出来る仕組み ・プライバシーへ配慮する工夫（仕切） ・入りやすい雰囲気 【エコ】 ・自然エネルギーの利用、エコな庁舎	【若者が集う場】 ・中学生、高校生が気軽に訪れる場 ・高校が3校ある町だからこそ、自習室でゆっくり勉強できるスペース 【子育てしやすい場】 ・子連れの人ができる場（絵本などの読書スペース） ・授乳室、オムツ交換台の設置 ・トイレを広くし、多目的トイレにする 【運動ができる場】 ・運動できるスペースの設置 ・更衣室、シャワールームの設置 ・災害時の活用 【災害対策】 ・安心・安全についての学び ・備蓄庫、災害用発電機の設置 ・キッチン（災害時の炊出もできる） 【利用しやすい庁舎】 ・広い駐車場の設置 ・広いエレベーターの設置
B 班	【子育て】 ・子どもが遊べる場所、短時間で預けられる場 ・キッズスペースの設置（土日も開いている親子で遊ぶ場） 【商店街・駅との連携】 ・加治木駅と共有のレンタサイクル ・支所から商店街までの道に店舗を誘致 ・JR 加治木駅までの動線を考えた立地 ・商店街に建てることで大井病院、加治木整形外科にもすぐいける 【市民への開放】 ・小会議室（多目的）の設置 ・習い事、料理、セミナー、イベントの開催できるスペースの設置 ・広い駐車場があるため、色々な会合ができる機能が欲しい 【防災】 ・安心して避難できる場所、津波対策、自家発電設備の設置 ・防災拠点としてのあり方 ・網掛川への対策が必要 ・防災上、現敷地より商店街の方がよい（物資面もメリットあり）	【利用しやすい庁舎】 ・別館に行く為の渡り廊下の設置 ・総合案内所の設置、手続き機能の集約 ・木などの温かみのある素材 ・入りやすい庁舎 ・初めてでも利用しやすい ・エレベーター等の設置 【わかりやすい庁舎】 ・わかりやすく、皆が知っている庁舎 ・窓口を色で分けるなど、視覚的にわかりやすい案内表示 ・暗いイメージ、光が明るく ・建物は1つがわかりやすい 【複合機能】 ・体育館施設（体育館、市民プール） ・図書室が老朽化していることから集約 ・商店街との一体化をはかるために商店街に支所庁舎を建てる ・福祉センター機能を集約させる ・学校の帰りに立ち寄って勉強する学習スペースの設置 ・宿泊施設、最低限の設置（観光向け） ・公共施設の削減へ向けた複合化

(3) 第1回ワークショップのまとめ

第1回ワークショップにおいて意見交換した「総合支所庁舎に求めること」や「庁舎のあり方」についての意見をまとめると、以下のようなキーワードが得られました。

総合支所庁舎には、「市民の交流できる場」や「学習・図書の機能」の配置、「災害時の対策や地域との連携」についての意見が多く出されました。また、「子育て世帯への配慮」や「運動ができる場」を求める意見なども上げられました。

【新しい総合支所庁舎に求めること】

- | | |
|---------------|-------------|
| ● 市民が集い、交流できる | ● 学ぶことができる |
| ● 災害時でも安全心できる | ● 地域との連携を図る |
| ● 子育て世代が安心できる | ● 運動できる |

図 3 第1回ワークショップのまとめ

2.2 第2回ワークショップ

(1) ワークショップの概要

第2回ワークショップでは、第1回ワークショップにおいて意見を交換した「総合支所庁舎のあり方」について、参加者全員で確認しました。前回の意見を踏まえ、第2回ワークショップでは、「総合支所庁舎と複合化する機能を考える」をテーマとして、A、Bの2グループに分かれて意見交換を行いました。

第2回ワークショップの開催概要を表3に示します。

表3 第2回ワークショップの開催概要

日 時	令和元年9月6日（日）9:30～11:30
場 所	始良市加治木総合支所 南庁舎2階 多目的ホール
目 的	新しい総合支所庁舎と複合化する機能を考える
参加人数	14人
1. 開会	
2. 第1回ワークショップの振り返り	
3. 第2回ワークショップの進め方	
4. グループ討議	
■ テーマ：新しい総合支所における新たな導入機能について、さらに詳しく考える。	
5. 今日のまとめ	
■ 出された意見を発表する	
■ 簡単な整理、意見の共有	
6. 事務連絡（次回の予定）	
7. 閉会挨拶	

表 4 第2回ワークショップの様子



(2) 第2回ワークショップで出された主な意見

A 班	【市民の集い、交流できる】 ・体育館や多目的ホールなどのさまざまなイベントが行える場所 ・展示ギャラリーのある市民ロビー ・地域の PR ・加治木出身の有名人をアピール ・巡回バスの待合場としてのスペース ・プレイルーム（オセロ・麻雀） ・ワンコインカフェ ・団体（サークル）活動に便利な場 ・保健センター、福祉センター、ふれあいセンターを統合した付帯施設 【学ぶことができる】 ・利用者が居ないときは他の目的でも利用出来るような学習室 ・様々な学年が質問できるコーナー ・調べものが出来る図書館（PC 設置） 【子育て世代が安心できる】 ・児童クラブ ・キッズスペース ・一時預かり（育児相談等ができる場） ・保護者が交流できる場所 ・保健センター併設（子育て相談・定期健診）	【運動できる】 ・スポーツ選手の合宿所 ・市民プール(25m プール、屋内プール) ・健康増進のための施設 ・スポーツ教育のための施設 ・多目的に利用出来る体育館 ・仕切って使えるグラウンド 【地域との連携を図る】 ・庁舎～商店街を通る路線バスルート ・商店街から仮出店できるスペース ・観光案内所 ・団体が利用出来るスペース倉庫 ・多世代交流ができる施設 【災害時でも安全で安心できる】 ・自家発電設備 ・自然エネルギーの利用太陽光発電など ・キッチンスタジオ ・緊急用ヘリポート ・庁舎の位置考え直す(福祉センター・物産館跡地) ・フリーWi-Fi の設置 ・避難所として利用できる多目的室 ・網掛川対策や避難対策
B 班	【市民が集い、交流できる】 ・趣味の作品等の展示できるスペース ・学校で使ったものを販売するスペース ・色々な学校が発表をできるスペース（多目的ホールにステージを設置） ・広さを変えて多目的に使えるスペース ・誰でもいつでも使用できるスペース ・電源コンセント、通信機能、投影機能 ・土日も開放された多目的スペース ・公園を併設 ・コミュニティ機能メインの施設に 【子育て世代が安心できる】 ・保育士がいて、土日祝も利用できる一時預かり・キッズスペース(有料) ・外にも子供が遊べる遊具を設置 ・親子が集えるサロン室 ・世代を超えた交流ができる機能 【地域との連携を図る】 ・加治木駅との動線 ・商店街の買物ついでに来られる場所に ・地域文化の資料館 ・交通機能（バス本数）強化	【運動できる】 ・スポーツ大会の実施（観覧席の設置） ・イベントでも使える体育館 ・冷暖房完備の体育館（災害時にも安心できる） ・明るくて広い体育館を併設する ・バスケ・バレーなどの設備 ・シャワー機能（災害時も使える） ・陸上グラウンド、草のないグラウンド ・市民プール 【災害時でも安全で安心できる】 ・防災機能を建物の高い位置に配置 ・現在のアマチュア無線社団局用の部屋と屋外の通信ケーブルをつなぐ ・非常用発電設備 ・コミュニティ FM・防災無線を強化 【学ぶことができる】 ・会議等の多目的に利用できる学習室 ・自習スペース、図書室、閲覧室等 ・帰り道や土日にも利用できる ・学校では学べないことの講習会 ・定期的なセミナー勉強会 ・大人も歴史を広く学べる展示スペース

(3) 第2回ワークショップのまとめ

第2回ワークショップにおいて意見交換した「総合支所における新たな導入機能（複合機能）」は、概ね次のようにまとめられます。

まず、「市民が集い、交流できる機能」として「多目的スペース」や「交流・喫茶等のスペース」の設置、「災害時でも安全で安心できる機能」として「防災・避難、備蓄機能」の設置について多くの意見が出されました。また、「学習・図書に関する機能」や「子育てに関する機能」、「展示に関する機能」に関する意見も多くあげられました。

その他の複合機能として、現庁舎敷地内に保健センターや体育館、グラウンド等があることから「子育てに関する機能」や「運動・健康増進機能」があげられました。また、近隣に福祉センターがあることから「社会福祉機能」などの意見が出されました。

【導入機能（スペース・機能）】

- | | |
|--------------|----------------|
| ● 多目的スペース | ● 交流・飲食・喫茶スペース |
| ● 学習・図書・読書機能 | ● 防災・避難・備蓄機能 |
| ● 運動・健康増進機能 | ● 子育て支援・保健機能 |
| ● 展示・情報発信機能 | ● 社会福祉機能 |

図4 第2回ワークショップのまとめ

2.3 第3回ワークショップ

(1) ワークショップの概要

第3回ワークショップでは、第2回ワークショップで意見を交換した「総合支所庁舎に複合化する機能・新たな導入機能」について、参加者全員で確認しました。前回の意見を踏まえ、第3回ワークショップでは導入機能（複合機能）について、その「優先度」に関する意見交換をグループに分かれて行いました。さらに、新しい総合支所庁舎がにぎわいの拠点となるために、「市民自らが総合支所庁舎においてできること」、「総合支所庁舎と地域との協働による連携方策」について考え、意見を出し合いました。

第3回ワークショップの開催概要を表5に示します。

表5 第3回ワークショップの開催概要

日 時	令和元年 10 月 6 日（日） 9:30～11:30
場 所	始良市加治木総合支所 南庁舎 2 階 多目的ホール
目 的	①新しい総合支所へ導入する機能の優先度を考える ②新しい総合支所庁舎における地域との連携方策を考える
参加人数	15 人
1. 開会	
2. 市長挨拶	
3. 第2回ワークショップの振り返り	
4. 第3回ワークショップの進め方	
5. グループ討議	
■ テーマ①：導入機能の優先度を考える。	
■ テーマ②：新しい総合支所と地域との連携方策・市民参画について考える。	
6. 今日のまとめ	
■ 出された意見を発表する	
■ 簡単な整理、意見の共有	
7. 事務連絡（今後の予定）	
8. 閉会挨拶	

表 6 第3回ワークショップの様子



(2) 第3回ワークショップで出された主な意見

1) 導入機能の優先度

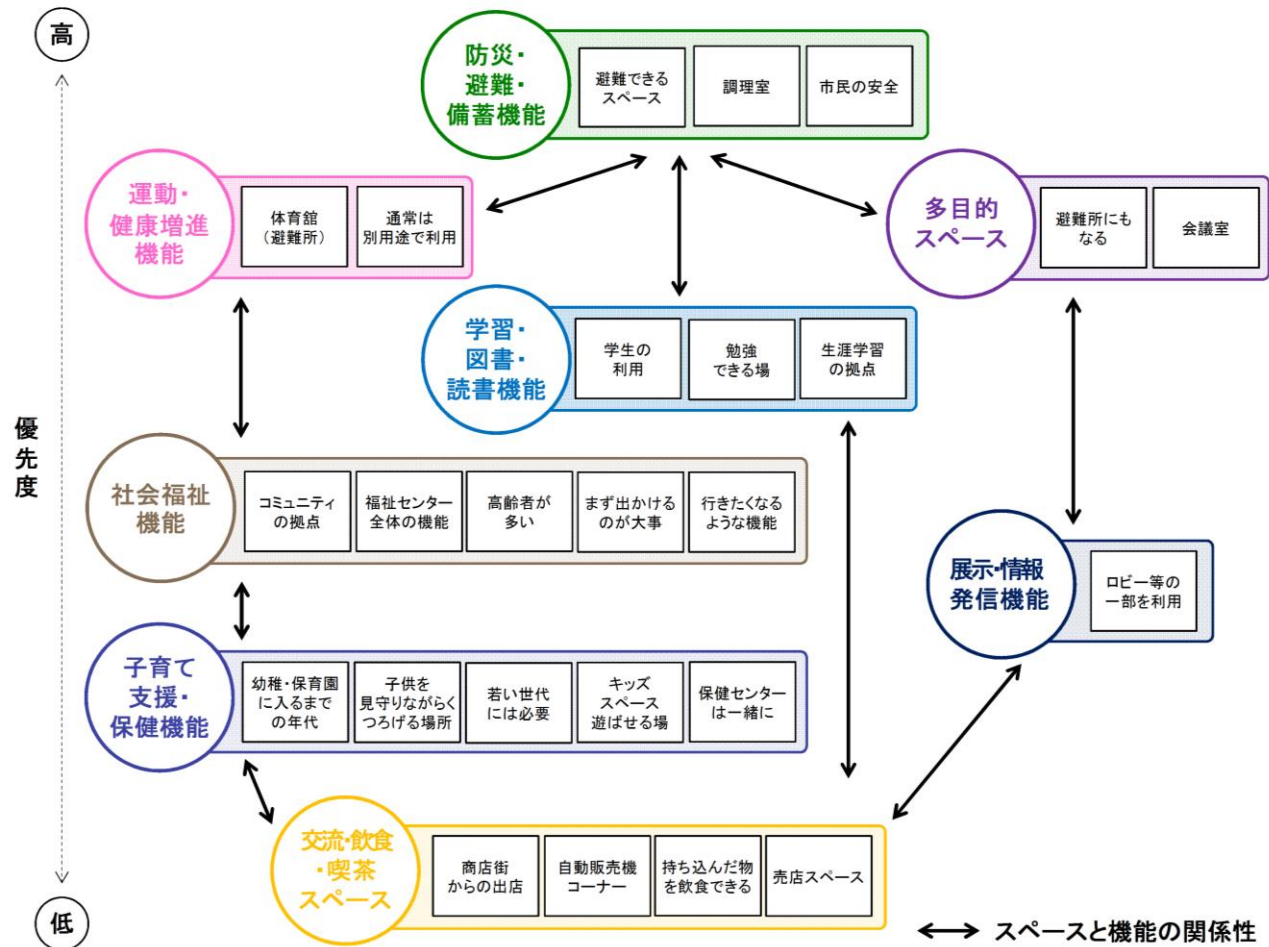


図 5 導入機能の優先度 (A 班)

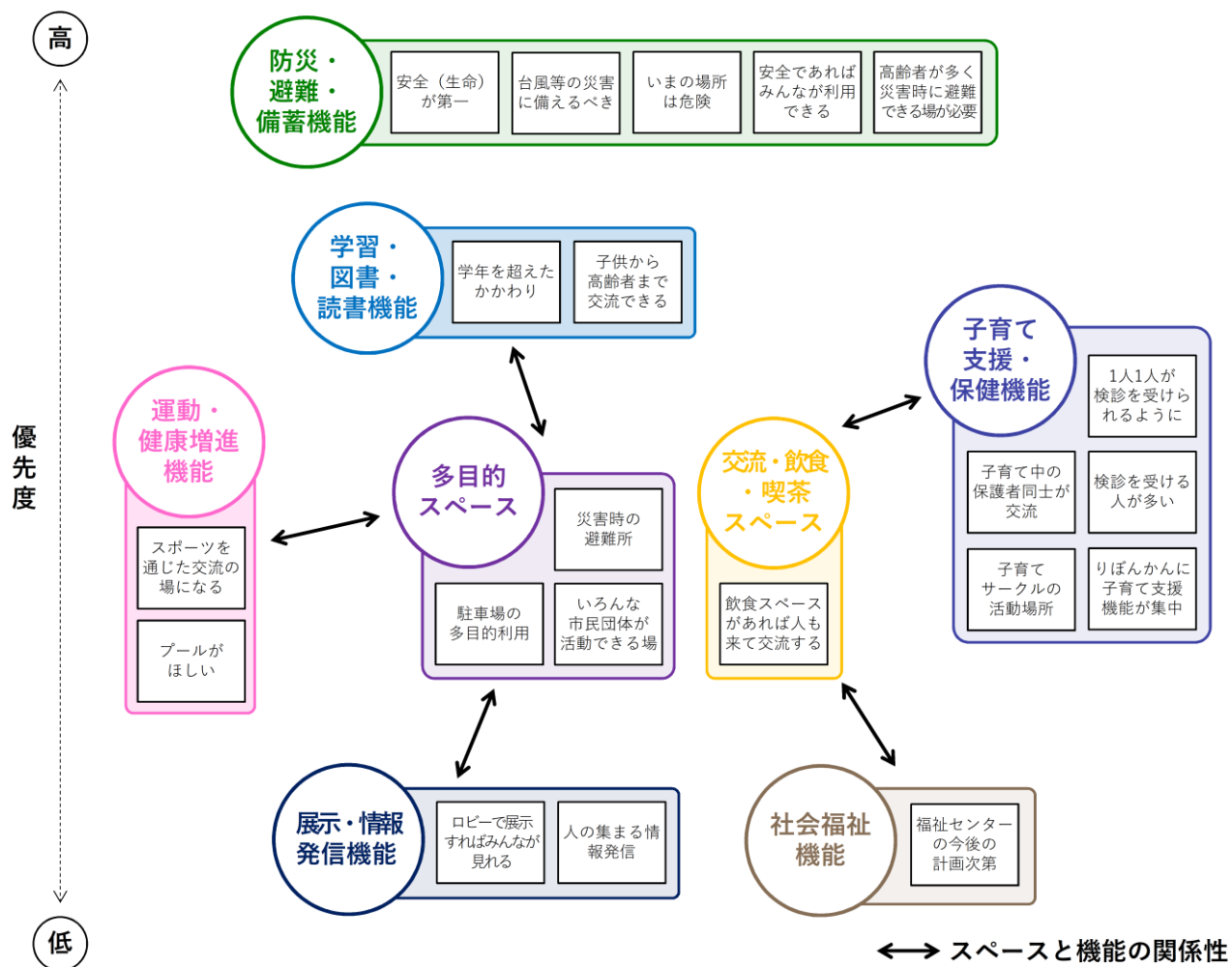


図 6 導入機能の優先度（B 班）

2) 総合支所と地域との連携方策や市民参画

A 班	【美化活動】 ・清掃活動 ・資源ゴミ回収 ・美化作業（清掃、花を植える） ・種まき・植樹 ・環境整備に係る奉仕作業 ・清掃活動 ・花を持参して植える 【交流】 ・高齢者若い子育て世代との話し相手 ・交流活動 ・部活動との交流 【PR】 ・広報・PR ・広報活動 ・市のイベント等の広報支援 【やってほしいこと】 ・郷土料理教室（高齢者⇒若者へ） ・災害、防災教室 ・お年寄りの知恵袋	【イベント】 ・ロビーコンサート（音楽） ・マルシェ ・商店街企画のイベント（マルシェ等） ・街ゼミ ・普通救命講習 ・防災防火講習 ・避難時の誘導 ・ヒーリング（身体・心） ・盆踊り ・高齢の方へのサポート 【子育て支援】 ・キッズスペースの管理 ・本の読み聞かせ ・見守り隊 ・学習補助 【ボランティア】 ・イベント時のボランティア ・大会等の補助員 ・様々なボランティア活動 ・市のイベント等へのボランティア参加（支援）
B 班	【イベント】 ・キッチンカー ・グルメイベント" ・フリーマーケット ・イベントは加納ホールでやっている ・農水産物の販売 ・朝市	【企業】 ・起業したいと思っている人がチャレンジする場（調理して提供する場）→商店街の活性化へ 【子育て】 ・障害児も健常児がわけへだてなく交流できる場や機会 【学校】 ・3つの高校が対抗する場※各校の生徒会長が集まって企画する ・学校がミニコンサート

(3) 第3回ワークショップのまとめ

1) 導入機能の優先度

総合支所庁舎に導入を検討する機能のうち「最も優先度が高いもの」として、「防災・避難・備蓄機能」があげられました。また、「防災・避難・備蓄機能」と共用できる「多目的スペース」や「運動・健康増進機能」などについても、優先すべき機能として意見が出されました。その他の機能については、概ね同程度の優先度とする意見が多く上げられ、A、B 両グループともに意見の傾向は類似しており、市民の防災意識の高さがうかがえました。

2) 総合支所と地域との連携方策や市民参画

「市民自らが総合支所庁舎においてできること」、「総合支所庁舎と地域との協働による連携方策」については、これまで地域の各種イベント等の開催や、参加者自らが得意とする分野に関する講習や講座の開催、イベントに関する広報活動やボランティア活動についての意見が出されました。また、地域の各種団体が活動の場として活用できるだけではなく、その取組みをサポートするような総合支所庁舎になってほしいという意見もあげられました。